

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

令和5年11月2日

文責 富永 和重

読書の秋です 「図書館まつり」

随分日も短くなってきました。秋ですね。

秋といえば「読書の秋」。学校では、「図書館まつり」が始まりました。

今年が目玉は、理科室で行う「からだ博士になろう」。

「からだ」に関する本に興味をもってもらうため、「からだ」に関する様々な催しを行っています。

いろいろなワークショップもあるので、縦割り班の上級生と下級生がペアになって楽しみました。



本を読むことは、頭と心の成長に良い影響を与えます。子供のうちにたくさんの本に触れさせていきたいですね。本校の子供たちは、読書に対する意欲は高いです。「図書館まつり」を機会に、さらに本が好きになるようご家庭でもご協力ください。秋の夜長、子供と一緒に本を読む日があってもいいですね。

成長を感じます

お昼に放送委員会や他の委員会がお知らせ等を放送します。その時に物怖じしない心・表現力の育成を目指し、それぞれの児童が日頃思っていることや身近な出来事等を話す「今日のひとこと」のコーナーがあります。例えば、

「今日、〇〇の勉強をしました。難しかったけど、もっと上手になりたいです」

「もうすぐ修学旅行です。〇〇について興味があるので楽しみです」

等が多いのですが、最近、ちょっと成長を感じる「ひとこと」が出てきました。

・10月27日(金) 5年男子

「10月の生活目標は2つありました。1つは〇〇です。もう1つは何だったでしょう。正解は〇〇です。皆さんがんばりましょう」

・10月30日(月) 5年女子

「11月の生活目標は〇〇〇と、△△△です。皆さんちゃんと覚えましょう。そしてがんばりましょう」

この2人は、単に放送を通じて表現するだけでなく、学校全体がよくなることを考えて「呼びかける」という表現をしています。感心しました。

